

コモンス

コモンスとは...労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共につくり合うこと

2022.1.15 第158号

発行所/コモンス
編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号
コモンス政策研究機構内
電話:03-3389-0411 Fax:03-3389-8573
編集/革命21
The Communist Association for Revolution Movement 21
郵送購読料/1部500円 半年2500円(1年5000円)
郵便振替口座/00100-5-391171(コモンス政策研究機構)
ウェブサイト:http://www.com21.jp
Eメール:rev@com21.jp

年頭に当たって

米軍由来のコロナ感染拡大、岸田政権の責任重大

オミクロン株コロナの世界的感染爆発、日本も「第6波」突入の中で迎えた新年。文明の外からのウイルスの脅威が世界的パンデミックになる原因は、無限の利潤を求め暴走する強欲資本主義が自然環境を破壊し、野生動物と人間の境界を破壊した結果です。焦眉の気候危機、食料・水危機なども同様です。コロナ・パンデミックは、資本主義が労働者民衆の生存の権利を保障できないばかりか、自らの延命のためにその命をも犠牲にすることを可視化させ、資本主義の廃止、それに代わる新たな社会への根本的転換の課題を突き出してきまし。

コロナ禍で進む深刻なアメリカの衰退 世界はどこに向かっているか。

私たちは、この間、「アメリカの時代は終わった」との認識を示してきた。この一年、世界を覆うコロナ禍で、米国の衰退・弱体化がバイデン政権のアフガニスタン撤退、懸案の大型歳入増進法、米国の代わる

岸田「台湾有事日米作戦」・改憲、辺野古新基地阻止をめぐる正念場

対米隷従の「この国のかたち」変える時だ！

東アジア・沖縄との結びつきを強化し、日米安保破棄へ

新年のご挨拶/武建一

新年明けましておめでとうございます。読者の皆様、ご支援を頂いております。全国の皆様、心より感謝とお礼を申し上げます。今年のご挨拶とさせていただきます。

争前後のようなマスコミ報道、中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国への挑発行動、敵基地先制攻撃論、軍事予算を今の約5兆3000億円から約10兆円に増強する等とされています。安倍・菅9年間の無責任政治を継承した岸田政権は、自民党、公明党に加え日本維新の会と国民民主党による憲法

米軍の特権、辺野古新基地許さない！
カンパ振込先/ゆうちょ銀行 17080-2187761 キシモトヨウヘイコウエンカイ代表/稲嶺進
岸本ようへい事務所/〒905-0011 沖縄県名護市宮里 6-2-9-102
TEL.0980-43-7867 FAX.0980-43-7869

沖縄。名護市長選挙勝利へ！全国から応援を！

コロナ禍、貧困、格差、生きづらい世の中を本当の労働組合運動で変えよう！

1.23 関西集会

協同会館アソシエ3階ホール
TEL.06-6323-7707

2022年1月23日(日) 12:30開場 13:00開始 15:00終了
主催:武建一と共に歩む会 協力:関生再生委員会

後日本の「この国のかたち」あり方」を決めてきた米国の関係の見直し、日米安保体制の呪縛から離脱するチャンスであり、その客観的条件が熟しつつあることを教えている。

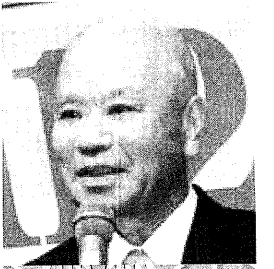
(1月6日記)

11/23 東京集会

変えよう!!



■空前の関生大弾圧の中、何が起っていたのか。真の労働組合運動とは何か？当事者の武建一氏と社会学者の木下武男氏講演会が11月28日東京で開催された。会場は満席状況の中、鴻上薫さんの司会で冒頭、日刊ベリタ代表の大野和興さんの開会挨拶、関連訴訟の「週刊実話」訴訟団代表～弁護士ほか識者発言で、運動の前進が確認できた。



弾圧をはね返して、おが国の産別労働運動と「関生再生」に向けて

武建一・関生再生委員会代表

権力の長期拘留の狙い打破した 世論と支援者抗議の力

私は2018年8月28日に逮捕され、2020年5月28日まで641日間拘留されてきました。敵権力は、当初5年間拘留の目論見であったが、なぜ長期拘留にならなかつたのか。関生支部に対する弾圧は、実際は産別別労働運動を支配・付度させようと思つたが、あまりに酷い弾圧を認めれば、日本の民主主義そのものが破壊されるとの気持ちの広がり：特に東京の方からは裁判所に旺盛な抗議を続けてくれました。裁判所はこたえたようで、5月には「もうそろ

個別企業の枠を超えて団結 「関生支部」の大衆性と階級性

私は58年間、支部結成は56年前ですが、その前から運動に関与し一筋にやってきました。この関生が、どういう性格の労働組合であるか。労働組合といえは御用組合なるものもあれば、ひどいのは会社とグルになつて真つ当な労働組合を攻撃してやる労働組合も今あります。普通であれば労働組合は、労働者賃上げや労働環境の向上などを目的にして、自主的に団結し要求し交渉・行動をするとの権利が認められていま

の組合に入ったら、住友はセメントもあれば化学繊維ほかいろんな産業があります。組合はその企業の本勤労働者を中心として組織され、それが殆どの日本の労働組合です。交渉する場面にも住友であれば会社を辞めると組合員ではなくり会社の中の組合員、これを企業内組合といひます。我々は企業の枠を超え

労働者を支配—「背景の米国と日本の独占」二つへの闘い

世の中には二つの階級が存在します。日本を現実支配しているのは、戦前は天皇を頂点に大資本等で、戦後の天皇は象徴ですから誰が支配しているか：天皇に代わり米国が支配しています。日米安全保障条約というのがあります。米国は日本の各地にど

て団結をする、生コン産業全体でトラックであればトラック産業全体、バスもそう、全てそういう形で企業の枠を超え横断的に結集する労働組合です。大衆性が強く関生の成果が上がれば一気に組織は増えます。また組合員と家族の生活を守るため、それだけに限定しない階級的な性格も持っている。

「資本の根幹を崩す」と権力が恐れ 3回もの大弾圧の歴史

1980年、大阪兵庫工業組合との32項目合意事項は未組織労働者にも及ぶ画期的な労働協約でしたが、これに日経連は攻撃を本格化させました。

関生運動は「資本主義の根幹にふれる一箱根の山は越えさせない」と当時の日経連が警察権力を導入、交渉の成果を潰した。これに日本共産党も加わり「武力権暴力集団」として大阪府民880万人にチラシを配布したので共産党と決別しました。2004年大阪地区中小企業の大同団結に成功したが、2005年私の逮捕1年3ヵ月の拘留で潰されます。この間、セメント・ゼネコン大手資本の収奪と闘い、中小企業への支援、仕事おこし、セメント・トン当たり5千円の値上げを10年間阻止したことなど、中小企

この二つが日本を支配しています。階級意識を持つということ、我々を支配するこの二つと闘うということです。直接支配者に闘いを挑む訳ですから弾圧も中枢からの弾圧となつて現れます。政治に無関心であるという事は、相手にどうぞ好きなようにやってくださいといつてのと同じです。だから我々関生支部は政治闘争をしっかりとやれたんですが、過去3回もの大きな弾圧がありました。

支部幹部からの分裂行為— 内部崩壊招いた彼らの責任

この方針で行こうとした時に、足を引っ張ってきた者がいたのです。敵資本が潰しかかるといふのは分かるのですが、関生の内部から潰しかかっていた。権力の考える破壊工作に内部から私を引きずり下ろし、関生の路線を変えようといふ方です。時間をかけてこの一年やってきました。2020年10月18日関生支部定期大会を開きました。その時に大会の経緯を事前に連絡も協議もなく、その他会議とかでも何らかの事柄がこぼれ出た。議論なく、大会の終わりに突如、決意書

なるものを私に突然持ってきたのです。その「決意書」とは「これからは委員長を除いて…つまり私を除き運営をする」と、他の幹部で集団指導を行うという。私を除く理由がどこにあるのかと尋ねても説明しない。「報告・連絡・相談はします」と。でも実際はこの1年間、相談も連絡もありませんでした。ですが自身で産んで育てたような組織です。分裂的なことはやるべきではないと自重しました。だが、彼らのやっていた事がひどすぎた。例えば、組合員が今回

の弾圧で減少し、組合費収入ということでは10月100万もない。最盛期1500万円もあつたのが現状100万もなく、従来通り1500万も使うのであれば1400万赤字になります。どこから調達すればいいのか：それを今まで血を流し、汗を流して作り上げてきた組合の財産を全部切り売りしようとしている。資金が底をつくと、協力関係の会社から莫大な金を借り、委員長に言うなど言つて借金してきた。金を借りられるだけ借り当座資金がなくなった。そこで今まで蓄積した会館を売りにかかる。要するに今までの財産を全部、幹部が食い散ら

しかねない状況なんです。また、2017年12月17日からのストライキは間違いであった」とも言い出した。現在、このストライキの正当性を全国の皆さんに訴えている最中です。権力は憲法28条・労働組合法を無視して弾圧していると言っています。そう訴えている人間が、間違いだつたと言え、支援してくれている人たちを愚弄するものです。仮にストライキが間違いであったとしても、この運動が終わつた後で総括すればいい。闘争継続中の時に何をやるのか。「間違つたことはいやめろ」と言つたのですが、彼らはやめられない。今回のストライキは「あ

新しい協組造りと今後への展望 「関生再生」を次なる目標に

大阪兵庫の生コン工場は供給過多であり、稼働率が低いのに採算が確保できていないのは原価が不透明であり、現状の月2800㎡での採算ラインによるドンブリ勘定によるものです。新しい協同組合は、一切の違法行為を直ちに止め、法に則つた正常な協同組合運営を行います。一工場当たり1万㎡、1万5千㎡の規模に設定します。今後目指す新しい協同組合では、全部が参加し民主的な話し合いをしてルールを作りましょう。製造業と輸送業、骨材業者から労働組合、これら人たちが全部集合して価格であるとかそれぞれ金の決め方：方向性、さらに運賃の問題。これを総合的に議論して議

決の取れる、そんな協同組合を新しく作ろうと思つたのです。実際に新しい協同組合はスタートしているのですが、そこに結果としていくために、先ほど話しましたプラント建設をきっかけとして新しい事態を開くべく取り組みをしています。今、関生に残っている車中では残っている財産を切り売りしたら、もう解散するのは…。こんな無責任は許せません。もう諦めざるを得なくなつてはいるのではないのでしょうか。もはや今、関生の影響力がある工場は2つしかないのです。その2つしかない工場の1つが閉鎖されているのです。社長への嫌がらせが続く、工場乗っ取りを企て

れば委員長が独走した。周りの幹部は反対したのだが」と。実際は全て議論を重ね、決めてやったのに、責任を転嫁してきている。さらに組合幹部の特権を利用する事案もあつた。幹部の子弟に有利な役職を、しかも利権絡みのところにつける。嘘とか人をごまかすとかは最悪で今までの信頼関係は一気に吹っ飛んでしまふ。

幹部とはそれほどの重責を担っている、その履行内容を「14項目」で示し、当たり前のことを書いておいて…。弾圧下です。私は批判するだけでは問題の解決にはならないと思ひ、新しい提案をしています。だが失敗し、その工場は倒れて工場しかない。この状態で行けば、工場がないので雇用も賃金も保証できない。もう完全に破綻状態です。私はそれに対し今申し上げた提案を提示してきました。辛いそんな私に対し、あなただったら投資しますよという方もおられます。それは何故かと言つと：体を張り私と一緒に闘つてきた方だからです。頑張つて闘ってきた者だからこそわかる信義です。

弾圧を跳ね返し、まだまだ希望とこれからの夢を実現する：時代と関生をまともにするということ、遠くない時期に実現すると思ひます。これからの皆さんの協力ご支援を心からお願ひ申し上げ、関生の再生に向けて全力を挙げることを表明し、話を終わらせていたきたいと思ひます。〈終り〉

生きづらい世の中を本当の労働組合運動

労働運動史における 関西生コン支部の位置

関西生コンの運動は、日本における「本当の労働組合」の試みなんです。日本の労働運動史上、試みは4回あります。

1897年、労働組合期成会、高野房太郎が職業別労働組合の萌芽なんですけれども、これは衰退します。

2度目は1921年、労働総同盟による川崎・三菱造船所の争議、この争議が天王山の意味を持ちまして弾圧されたんです。産業界労働組合の試みが出てきます。

3度目は全自動車労働組による1952年の日産争議、これは非常に志の高い争議でした。

全自動車自身が日産・トヨタを巻き込むような形で産業界労働組合を

目指しました。しかし潰れました。そして関西生コン支部が1965年に結成。産業界労働組合運動として残っているから弾圧されるといってもあります。必ず再生するというのが歴史の法則です。

関西生コンだけが唯一と言ったのは私だけで、産業界労働組合は別にもあるという見方もある。

関西生コンが唯一という理由は、他の労働組合にないことに関わってくるからです。

それは「共通規則」というウェブの言葉なんです。企業が超えて競争を規制できる基準とは何なのか、ということが、関西生コン以外にないというんです。

関西生コンの業種別職別賃金です。なぜ年功賃金でいいのか、差別の元凶。今の日本社会にあって正規非正規、どうやって同一労働同一賃金にするか、同じ仕事から同一賃金なのが世界共通なんです。

日本は年功、勤続、性差、能力によって全部一人一人違う。関西生コンは生コン運搬手の賃金は同じなんです。1993年に実現しています。

日本では産業界交渉として呼ばれているが、実態は企業別労働組合が産業界交渉をしてきた対角線交渉だとか集団交渉、同時交渉だとかがあります。

ただ、業界全体を規定することになっていない。関西生コンが特殊だからではなく、生コン業界と団体交渉をして取り決

関生型運動の二つの戦略 —歴史によって築かれたもの

関生運動の歴史、これを見逃してはならない。それは産業界労働組合の戦略と反独占の協同組合戦略、これは中小業者との一面共闘路線です。

この2つの路線で、関生では、年収800万円、年125日休日プラス有給休暇というところでもな

い労働条件が勝ち取れた。労働組合が労働者間競争を規制するということが戦略としてこれに代わらせようとすることを目的とする、つまり競争で労働者の状態が悪ければひっくり返せばいい。競争を規制すればよくなる。これが労働組合なんだと。

19世紀前半、マルクスとエンゲルスが初めて「労働組合とは何なのか」ということを示した。

エンゲルスは「労働者相互間の競争こそ、現在

め業界全体に適用させる。あと一つは、戦闘的産業界労働組合というのは、労働者の解放、単に賃金労働条件の改善をするだけではない、支配されているところからどうやって解放していくのか、ある産業を組織している人ではないのだから、アメリカのワン・ビッグ・ユニオンを参考にします。

2点目は協同組合、日本は独特の資本主義で大企業による中小企業の収奪、系列下請けや孫請けから収奪している。

この中小業者をどうしようか。

日本の産業界労働組合にとって非常に重要なことである、協同組合による大手セメントメーカーから収奪している。

これは社会的変革にとって持っている意味は、労働組合の枠組みを超えて非常に重要なことを武前委員長が提起されている。

武委員長が現執行部から排除され委員長を降りられたと聞いたときに、ユニオンリーダーとは何なんだ。

日本の中で産業界労働組合を引き継いだ人とは誰ですか。

全自動車の益田哲夫という人で非常にすぐれたユニオンリーダーです。現実、全自賃金論を出した人です。生活で

どのように競争を規制するか。

日本は年功、勤続、性差、能力によって全部一人一人違う。関西生コンは生コン運搬手の賃金は同じなんです。1993年に実現しています。

日本では産業界交渉として呼ばれているが、実態は企業別労働組合が産業界交渉をしてきた対角線交渉だとか集団交渉、同時交渉だとかがあります。

ただ、業界全体を規定することになっていない。関西生コンが特殊だからではなく、生コン業界と団体交渉をして取り決

これは社会的変革にとって持っている意味は、労働組合の枠組みを超えて非常に重要なことを武前委員長が提起されている。

武委員長が現執行部から排除され委員長を降りられたと聞いたときに、ユニオンリーダーとは何なんだ。

日本の中で産業界労働組合を引き継いだ人とは誰ですか。

全自動車の益田哲夫という人で非常にすぐれたユニオンリーダーです。現実、全自賃金論を出した人です。生活で

私たちはこのような武さんとともに真の労働運動を日本中で広げていく。その思いを実現するため支えていきたい。

※木下氏の今回の講演詳細は、次号以降掲載の予定



木下武男氏 昭和女子大学名誉教授・社会学者

本音の労働組合とは何か 関生産別運動の意義



首相官邸前で「武建一を勝手に応援する会」プラカードを掲げる女性が登場。武さんの味方は全国に広がる。(12月3日)

「沖縄意見広告運動」による日本全国に沖縄の実態を知ってもらおう。そこに原発や安保法制に反対すると言っているを進めてきた。

だから権力とすれば、こんな危険な存在はない。

徹底的な「武」弾圧で、理由にもならない難くせいで百数十日もの拘留をする。

でも武さんはそれに負けない。結局権力としては、なんとも潰れずとして、生コン支部の中に権力は手をつき込んでくる。それで武さんを排除しようとする。

「この闘いの中で、武さん

発言 土屋源太郎氏



（伊達判決を）生かす会 共同代表

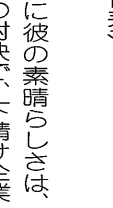
本日は武委員長から責重なお話を伺った。大変勉強になった。

1965年当時の生コン業界は、産業界労働者が隷属的な環境であった。

それを武さんが関西生コン労働者を立ち上げ、賃上げその他全般の改革を訴え一大組織となった。

本来の労働組合としてあるべき姿で、いまだ日本で数少ない貴重な運動を貫いてこ

発言 乱鬼龍氏



（川柳作家）

2年くらい前に週刊実話なる低俗誌で「関生は反社会団体」との記事が数回載った。

これに憤慨し、今日のように向誌を裁判で訴えた。

武さんが今回の件で、一組合員として頑張ると、関生支部再生にかけるこの決意があった。

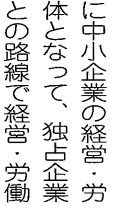
私は足尾銅毒事件の地元で生まれた。田中正造が谷中村に入ってくる時は指導者としてではなく一村民として入り、共に闘ったことでも入った。

その事情を記した「渡良瀬川」との本がある。（著者は大鹿草：詩人金澤光晴の実弟。）

…正造は、村民から「田中さんこんな負け戦、何になんか潰れずとして、生コン支部の中に権力は手をつき込んでくる。それで武さんを排除しようとする。」と問われ、「これは人事場の焼け跡の用心だ」と答えた。…火をしっかりと消さないと次に山火事になる。

「本物の闘いを問う吾等」…あまりに偽物が跋扈する状況下、本物が何か不明の時代だが力を合わせて頑張りたい。

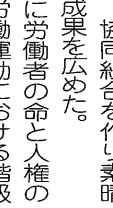
発言 大口昭彦氏



国際的に、日本を1とするとドイツ571倍、フランス1026倍と、日本は労働争議が圧倒的に少ない。

日本の賃金はG77でも最低との状況があり、日本のテーマである貧困と格差問題で、労働組合の役割がどうあるべきかが問われて

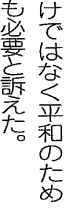
発言 一瀬敬一郎氏



この中で唯一、戦闘力を保有して来た関西生コンが大弾圧に晒され、組織に権力が手を突っ込んでくるという微妙な状況にある。

我々も一昨年以来、週刊実話への名譽毀損裁判の中で、右翼・検察や一部組合による不当な誹謗攻撃を糾弾し

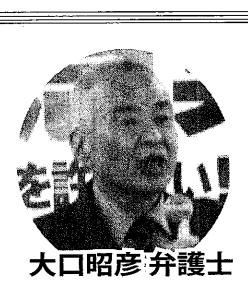
発言 木下武男氏



「週刊実話」提訴弁護団より

この中で唯一、戦闘力を保有して来た関西生コンが大弾圧に晒され、組織に権力が手を突っ込んでくるという微妙な状況にある。

我々も一昨年以来、週刊実話への名譽毀損裁判の中で、右翼・検察や一部組合による不当な誹謗攻撃を糾弾し



一瀬敬一郎氏 大口昭彦氏

この中で唯一、戦闘力を保有して来た関西生コンが大弾圧に晒され、組織に権力が手を突っ込んでくるという微妙な状況にある。

我々も一昨年以来、週刊実話への名譽毀損裁判の中で、右翼・検察や一部組合による不当な誹謗攻撃を糾弾し

この中で唯一、戦闘力を保有して来た関西生コンが大弾圧に晒され、組織に権力が手を突っ込んでくるという微妙な状況にある。

我々も一昨年以来、週刊実話への名譽毀損裁判の中で、右翼・検察や一部組合による不当な誹謗攻撃を糾弾し

この中で唯一、戦闘力を保有して来た関西生コンが大弾圧に晒され、組織に権力が手を突っ込んでくるという微妙な状況にある。

我々も一昨年以来、週刊実話への名譽毀損裁判の中で、右翼・検察や一部組合による不当な誹謗攻撃を糾弾し

沖縄意見広告運動 6/13 オンライン集会

伊波洋一参議院議員 基調講演より 【連載⑤】



「台湾有事で

日本を戦場にしてはならない」

日米軍産の戦時シフトで 沖縄が真の先に犠牲になる!

⑤ 最終回

【前号続き】2005年10月、日米同盟で「未来のための変革と再編」というものが合意されました。

これは実は南西諸島の取り組みとして、弾道ミサイル攻撃やゲリラ、特殊部隊による攻撃や侵略等、「それは日本の役割だ」ということが合意されたのです。その結果、日本はそこに部隊を配備し、そして基地を造って行く、こういうことになっていきます。

【前号続き】2005年10月、日米同盟で「未来のための変革と再編」というものが合意されました。これは実は南西諸島の取り組みとして、弾道ミサイル攻撃やゲリラ、特殊部隊による攻撃や侵略等、「それは日本の役割だ」ということが合意されたのです。その結果、日本はそこに部隊を配備し、そして基地を造って行く、こういうことになっていきます。

実は、2011年4月15日の沖縄タイムズに初めて「エアーバトル」の記事が載りました。アメリカでのインタビュー記事です。その当時、アメリカは日本を拠点にしなから中国と戦争をする」という計画を立てていました。

現実には中国の開発するミサイルはどんどん発展していき、本土から3000km、2500km先の

これはCSIS(戦略国際問題研究所)ワシントン本部を置くシンクタンクのものなのですが、この赤いところがもう日本列島や南西諸島、フィリピン、グアムあたり、もうそこまで中国のミサイルは届くという状況です。

今日、戦争の出来る国にしているわけですね。それらを鑑みて、今回の私たちの意見広告はこの形になっています。

この、今回の重要土地法案は、やはり沖縄の50の有人国境離島を使うための仕組だ、というふうに思っています。

その島々は南西諸島になりかねない。そのことをしっかりと皆さんに訴えていき、「南西諸島を戦争の場所にしてはいけない、日本を戦争に巻き込まない、強く発信して行かなければいけない」と思っています。

先ほどの議論にもありましたが、アメリカは日米安保上の地位協定の役割で、何をしても許される環境を日本で作っちゃっているんですね。その被害にあわないように、私たちも今からしっかりと、また中国との外交を通して解決できる道を探していきたいと思っています。

そこに書いてあるのは、辺野古新基地建設は「中国との戦争のためで、その時に嘉手納と那覇だけでは足りないんだ」とだから3つ飛行場が必要なんだ」ということを明確に言っています。

11年5月4日に公表しました。辺野古の新基地というのは、最初から「対中国戦争のためなんだ」ということが書かれておられます。

は分かりませんが。しかしそれがアメリカの考え方だったと、こういうことは考えておく必要があります。

ただやはり、どんどん中国が強くなっていくものから、最終的にエアーバトルということは放棄されません。

なぜなら、それをすると中国からの「先制的核攻撃の動機」が生まれるということがあり、そこでアメリカ流非対称戦争という論文が示しているのは、「対置列島戦で阻止をする」ということです。

安倍政権は2012年に誕生して、早速2013年にはアメリカのハンドブックで「集団的自衛権の中身を直す」とか、「南西諸島の軍事強化をする」とか言っているのですが、日本国民には言わずにアメリカで言っているんです。

それで結局、集団的自衛権の容認をして、そして安保法も可決をして、そして

さて、ここで最後に指摘しているのは「重要土地法案」です。この法案の関係の問題としては、私たちの南西諸島の島々のことについて、この丸く印してあるところが飛行場のある島々なんです(下写真の図)。

この部分は私も外交防衛委員会でもやっておりますが、やはりもっと大きく深刻に考えなきゃいけない。中国と戦争をしてはいけない。(終)

他にも、ルース大使が秘密公電で長文を書いたのですが、それらをウィキリークス(匿名で投稿された内部告発情報)をインターネット上で公開するウェブサイトに、オーストラリアの元ハッカーが中心となって2007年に創設)が暴露して、それを朝日新聞が20

場とか、あらゆることを行って「中国軍と戦ってもらうんだ」との言いぶりなんです。

これ、アメリカ軍が戦うんじゃないですか。そういうのが現実に出ていくわけですね。

これは(資料写真)を提示するわけですが、伊良部島の横を走っているのが、こういうのもも流出してしまっている。

有人国境離島というのは148島あります。その内、沖縄に50島。その中でこの丸いところが、これは全部指定される予定なんです。指定の要件を持っているんです。

飛行場がある。なぜこの飛行場が大事かというと、今、沖縄の米海兵隊は「機動前進基地作戦構想」という構想で訓練を重ねていま

2020年の10月15日には伊良部島で「フーブル・フューリー21」という訓練がありました。ロケット砲迅速展開システムという任務を行うために、伊良部にロケット砲を持ち込んで、そこから攻撃をする。

今回の演習は、遠征前方基地の設立を支援するためにインド太平洋全域の襲撃

をする武装偵察部隊が東シナ海の島、そこへ来て戦争をする。これが伊良部のことなんです。そもそも、その「南西諸島にある島」というのは、ほとんど私たち日本の島々ですよ。

だから、宮古島や石垣島にミサイル部隊を置いて、そのミサイル部隊は夜間移動をしたり、あるいは隠蔽をしたり、またあるいはトネルとか、偽装弾薬集積

場とか、あらゆることを行って「中国軍と戦ってもらうんだ」との言いぶりなんです。

これは(資料写真)を提示するわけですが、伊良部島の横を走っているのが、こういうのもも流出してしまっている。

有人国境離島というのは148島あります。その内、沖縄に50島。その中でこの丸いところが、これは全部指定される予定なんです。指定の要件を持っているんです。

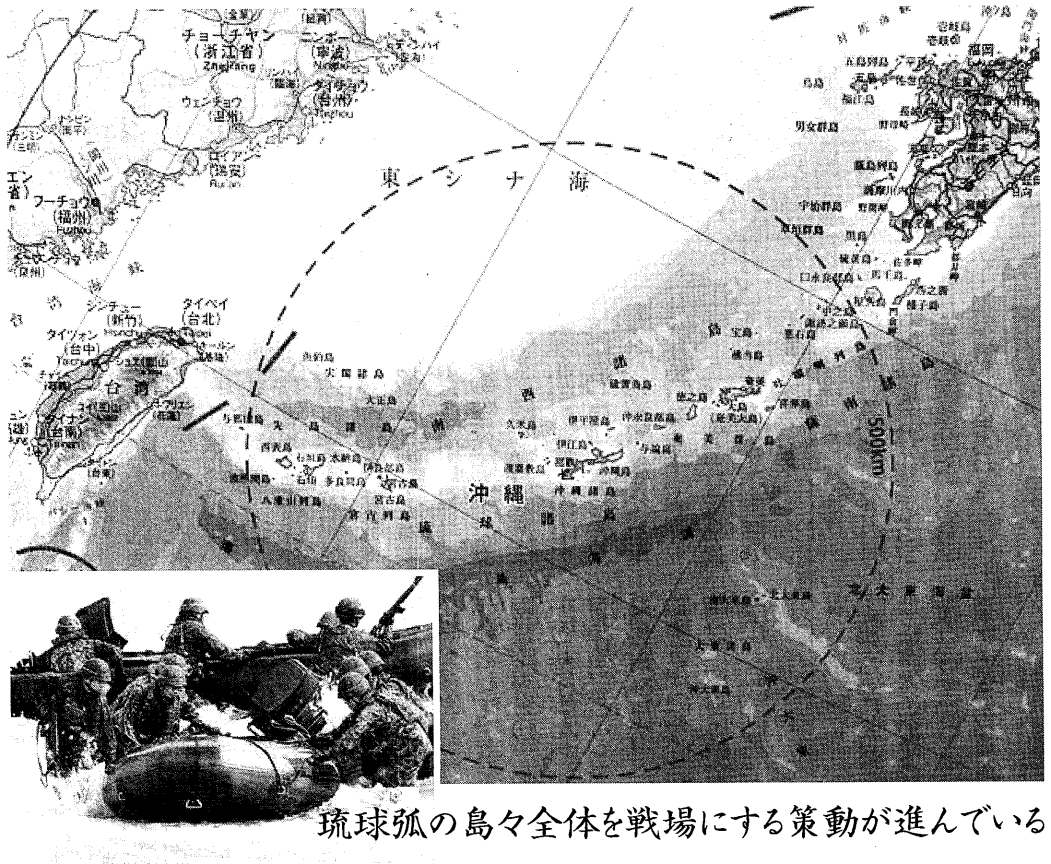
飛行場がある。なぜこの飛行場が大事かというと、今、沖縄の米海兵隊は「機動前進基地作戦構想」という構想で訓練を重ねていま

2020年の10月15日には伊良部島で「フーブル・フューリー21」という訓練がありました。ロケット砲迅速展開システムという任務を行うために、伊良部にロケット砲を持ち込んで、そこから攻撃をする。

今回の演習は、遠征前方基地の設立を支援するためにインド太平洋全域の襲撃

をする武装偵察部隊が東シナ海の島、そこへ来て戦争をする。これが伊良部のことなんです。そもそも、その「南西諸島にある島」というのは、ほとんど私たち日本の島々ですよ。

そして、MVオスプレイとか軽攻撃ヘリとかで支援をして、島を制圧して、支援されたところにMCS



琉球弧の島々全体を戦場に作る策動が進んでいる



時事評論

「コモンズ」の復権

〈今月の論者〉

齊藤日出治
大阪労働学校・アソシエイト学長

資本主義の崩壊に直面している
われわれの課題

①「新しい資本主義」と

社会の喪失

人類はその誕生以来、ウィルスとともに生きてきた。二世紀の資本主義は、この人類史を忘却することによって重大な誤りをしてきた。この誤りを正すために、「新しい資本主義」をスローガンに掲げた。



昨年一月月発足した岸田政権は、この現実を直視するのではなく、倒錯した経済に新しい装いをほどこすために、分配を是正する「新しい資本主義」をスローガンに掲げた。

②「コモンズの私物化と憎悪の無限連鎖

所得と資産の極端な不平等と「新しい日本型経営」の提唱によって、正規雇用は減少し、不安定雇用が増加し、企業の内部留保が増大する一方、労働者の平均賃金は低下する。

この感情は、国家や企業に対する批判や抗議へと向かうのではなく、かつて企業社会から排除された多様な社会地位を強いられた多様な社会集団へと向かい、これらの社会集団に対する嫌悪と憎悪の感情を募らせていく。

④複合差別を解体し、連帯に基づく社会へ

この活動は資本主義の経済を連帯と協働にもついで組織する社会的連帯経済への道へと通ずる。

③「コモンズの復権

この道は多様に開かれていく。

この道は多様に開かれていく。人口減少や高齢化によって衰退しつつある地域を私企業や行政官僚に委ねるのではなく、地域住民が主体となって、環境・介護・教育・福祉・災害・観光にかかわる事業に取り組む「コミュニティ・ビジネス・ソーシャル・ビジネス」を興す。大手の電力企業に依存するのではなく、地域内で電力エネルギーを自給する事業に着目する。

医療・介護を担うエッセンシャルワーカーが低賃金で過酷な労働を強いられる。その一方で、株主証券の取引が増大し、不労所得が少数の富裕層に集中し、その取引を担う「養ひつけない仕事」(D・グレイブ)に高額報酬が支払われている。

大企業の海外進出は、国内の企業城下町の衰へと地域社会の崩壊をもたらす。企業社会という支えを失った資本主義は、社会そのものの喪失へと突き進み、社会が共有する資産をかき取り、私物化していき。



コロナ下の歳末で炊き出し支援に並ぶ人の数は増える

近代以降に根づいた差別感情がこの社会喪失の不安感情が積み重なり、憎悪の感情が増幅する。ミンツニーというフェミニズムに対する嫌悪の感情が昨今高揚しているのも、その表れの一つである。

12・19 東アジア共同体研究所シンポで
山城博治氏「戦場にさせないための県民の会」結成を提起
東アジア共同体研究所理事長山城博治氏は12月18日、那覇市の琉球新報ホールでシンポジウム「東アジア共同体と戦後」を開催した。

失って貧困化する日本の中産階級も、アジアの近隣諸国、在日外国人、障がい者先住民、そして女性に対する攻撃をしかけていく。この社会感情が右派ポピュリズムの政治を支える。基礎となる。資本主義は、社会を解体すると同時に、無数の従属集団、二級市民を生産し組織して社会を統治し、資本主義の存続を図ろうとする。

新年座談会「理不尽な現実の声をあげ…」

世界の若者たちの闘いに続け!

- ＜座談会出席者＞
- ★木村 さやか (20代) / 出版業界に勤務。社会人1年目。メキシコに2年ほど留学や研究で滞在し、現地の社会運動に携わる。
 - ★佐々木 蓮 (20代) / 日雇いの建設現場などで働く。東京山谷での炊き出しなどの活動や、労働学校アソシエの活動に携わる。
 - ★宮間 葵 (20代) / ECサイト(通販サイト)を製作・運営するIT企業に勤務。昨年、不当解雇された同期を助け、その後半年ほどかけて社内で組合を結成。
- 司会と進行
- ★鴻上 薫 (30代) / コモンズ編集委員。労働組合の専従職員として働いた後、現在労働学校アソシエなどの活動に携わる。



年末年始、山谷をはじめ炊き出しや相談会が全国各地で行われた

■司会・鴻上薫：皆さん、本日は参加頂きありがとうございます。昨年は宮間さんの同期が会社で不当解雇された時、宮間さんが助けて闘った話をしました。その件は外部の組合を通じて無事解決しましたが、その後、社内で独自に組合を結成し、団体交渉など継続的に活動していると聞いています。今回はまずその話から入り、その後他の方の経験もお聞きし、皆さんの議論の中で、若い人たちが運動に何を求め、どうしていきたいのかなど深めていければと考えます。

―IT企業で組合を結成!― 外国籍の人たちと共に闘う

鴻上(以下―表示)：宮間さんが、どういった経緯で組合を作ったのか、お聞かせください。

宮間：うちの会社は通販サイトをやって運営する会社です。取引先ごとにプロジェクトチームを作るのですが、同じチームの人が社長に意見を吐かれていました。」「お前は発達障害だ」とか「そんなレベルの低い質問するな」と言われていて。毎日その人の愚痴を聞きながら、タイミングを見計らって「組合作るの解決できるかも」と言ったら、社内の別の女性の方にそれを相談したらしく、まずは3人で話し合いが始まりました。その女性の方が社員みんなから慕われている人で、その

人が声かけをしてくれたら人が集まって、グループチャットを作って一緒にやりましょう。ってのが始まりです。木村：社員は全員でどれくらいですか？

宮間：当時は20人ほどで、今は30人くらいまで増えてます。木村：私が働いている会社も10人くらいで、組合を作るような状況になったとして規模として難しいのではと思ってます。20人の中でそういう動き

木村：私が働いている会社も10人くらいで、組合を作るような状況になったとして規模として難しいのではと思ってます。20人の中でそういう動き



組織化と団交で劣悪な 職場環境を一步步改善

―団体交渉が基本活動だと思つたのですが、どういった要求ですか？

宮間：ハラスメントや暴言をやめてほしい、というのを一番に掲げて。その後は給料や賞与、フロン経営で気に入った女性社員には臨時ボーナス100万円をボーナスと出すような社長なので、そういうのはいい加減にして毎回返すようにお願いします。

木村：交渉の結果、組合の人たちも賞与を出してもらえたのですか？

宮間：満額ではないですが初めて社員全員に出ました。ただ、私含め組合員への支給額は減らされました。

―組合員の扱いはどうですか？賞与を支給されたのはいい成果ですね。

宮間：前の座談会では会社の連絡ツールから24時間無断で仕事の連絡やハラスメント的なメッセージが届く、とおっしゃってましたね。

対面が普通だったこれまでやり方でも追いつかないと思うのですが、どのように対応しているんですか？

宮間：あまり対応できていないです。

―でも団交の結果、一応深夜の連絡は減りましたし、勤務時間外は通知をオフにしてよいこと、緊急連絡にはチャット以外のツールを使うことを約束できました。

木村：結成にあたり、IT系の労働組合の前例などを参考にされたのですか？

宮間：IT系の労働組合で知っているところはあったんですけど、周りの組合に詳しくない人に頼りました。あとは労働学校アソシエで勉強したことも参考に模倣しました。

―IT関連の労働組合はあまり例がないですね。自分も聞いたことがないので、モデルがない中でどうですか？

佐々木：周りの人たちからはどんなアドバイスをもらったのですか？

宮間：ま、労働組合の紹介、行き詰っていた時も相談し、戻していただいたり、あとは労基署に行く際の資料をチェックしてもらったり、団交の録音を聞いてもらったり、アドバイスを頂いたりですね。

佐々木：心強いですね。最初から始まって、今は何人くらいですか？

宮間：今は私を入れて10人、他の会社に移っても引き続き組合員でいる方もいます。1年で半分くらい人が辞めていく、すごく人の入れ替わりが激しい職場なので、そもそも社内でも組合を維持するだけで精一杯です。

木村：トップの人が嫌ならめればいけないというスタンスで暴言とか吐き続けているんですか？

宮間：そうですね。社内向けの採用方針にも会社都合で合わない人材はクビにするという書き込みがあります。

木村：ほんぽんやめられてしまったら会社としても損失なんじゃないですか？

宮間：なのでなるべく経歴者を業務委託とかフリーランスの形で採用し、教育にお金をかけず、雇用で生じる負担も回避しています。入社翌日から「あなたはこのプロジェクトのリーダーだから頑張ってください」というような感じで、そんなことをしているのでも残るのは次に行く先もない人々です。

コロナ禍、立場の弱い人々を 利用し生き残りをはかる―IT企業

―IT業界のそうした構造が組合ができてから要因かもしれないですね。フリーランスで働く人が多い。あと技術の更新がスピードがとかく速く、人の入れ替えも激しい。

木村：気になったのは外国籍の方が多く働かれていますね。組合ができてから要因かもしれないですね。フリーランスで働く人が多い。あと技術の更新がスピードがとかく速く、人の入れ替えも激しい。

木村：気になったのは外国籍の方が多く働かれていますね。組合ができてから要因かもしれないですね。フリーランスで働く人が多い。あと技術の更新がスピードがとかく速く、人の入れ替えも激しい。

問題なのかなを思いました。宮間：うちの会社はコロナで大変でした。売上も異常に増え、取引先も大企業が増えた。社長も舞い上がって、社員を色んなところから受注している。今にもバブルが弾けて大企業からも切られてる。大事なお客があり、印刷所、書店、著者など色々取り扱うために、常識や知識を前提にして動かないと仕事が成立しない業界。なので、ひどい状況に陥らねえと会社としてみた。宮間さんの会社は、IT独特の

い方が多く本場に必死にしがみついたので、一番使い勝手がいいと思つたのかな。

木村：中年以降の再就職の難しさや外国籍の労働問題、IT系でバラバラに働いているから連携が取りづらくて、色んな問題が重なり合っています。自分には出版業界なので、コミュニケーションがすごく大事なお客があり、印刷所、書店、著者など色々取り扱うために、常識や知識を前提にして動かないと仕事が成立しない業界。なので、ひどい状況に陥らねえと会社としてみた。宮間さんの会社は、IT独特の



テレワークを強いながら在宅労働環境への支援はなく、自分たちで勝ち取るしかない

メキシコの経験―先住民、女性、命と生活を暴力で奪われる人々

木村さんは、就職する前にメキシコに滞在していたというのですが、どのような経緯だったのか、聞かせてください。

木村：メキシコには合計2年ほど行っています。最初は語学留学、その後は大学院での調査研究です。もっとも深く付き合いがあったのは先住民運動や、農民運動、土地を巡る運動といえます。自分たちが持っている土地が多国籍企業に安い値段で買い取られ、全部土場になるとか、風力発電施設が作られてしまつて、

あつた先住民の方たちは公用語と使っている言語が違い、そのために行政から排除されたり、そういうことに異議を唱える運動を一番は見ていました。

その関連で女性たちの運動にも関わりました。フェンアメリカでは「フェミニサイド(女性殺し)」といって、女性が女であるということが引き金になって、家族や友人から暴力、DVの延長で殺害される事件が本場に頻発している。社会問題になっていて、どうした暴力を糾弾する運動を一緒にやっています。

宮間：組合のような組織が主体なんですか？

木村：女性の運動などはあまり組織とか機関がなくて、草の根が多かった。先住民の運動も、先住民の者があって、そこを通じて交渉する先住民の全国組織もあるんですけど、

政府にお金をコントロールされて、腐敗し手く批判性を保てないというのか…。それを踏まえて草の根をやっている人たちに一番関わっていました。

佐々木：そこで土地を奪われたり、メキシコで生きていけない人はアメリカを目指すんですか？

木村：そうですね。私が一緒に運動をしてた農民の人たちも農業だけでは立ち行かなくてアメリカに出稼ぎに行く。選択する人がすごく多かったです。アメリカで働こうとして、国内で収容されたとか、そういう暴力を浴びている人々があるので、日本の入管問題と重なるところがあります。そういう人々に対して既存の労働運動などがきちんと連携できるようにしたいというのがあるかなと考えています。



子育てとの両立を強いられる

青年たちは、今



草の根で助け合う場を 生み出し、悲劇を防ぐ

「組合を中心とした労働運動だとしても、ぼろお

かいておかしな声を上げる人も日本に比べると多い。うまい組織化を見出し、うまい交渉手段があるかというところは、言い切れない。その場で助け合う力が強く、見て見ぬふりは日本社会と比較するとならない。

ただ、アメリカの政権の意向ひとつで、国境警備の強化などが平気で起るので、大きな状況までは変えようがないとも思いますが、それとは別の次元で、その場その場の少すすの助け合いによって、悲劇の数が減らされていると信じています。



「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に合わせて抗議するラテンアメリカの女性たち

米アマゾンやスターバックスで立ち上がった 若者たちと同じ地平に立つ—— 国境を越えた連帯の芽を育もう

「皆さんの率直な意見を聞いて思っているのは、既存の組織も運動も自己変革を迫られていくところですね。」

対面じゃないなんて組合じゃないという大人をほのめ、宮間さんのような自由さが必要なのか。

木村：宮間さんと同じような労働環境で働いているIT企業の人にはたくさんいると思うので、誰でもそういう手段がある。誰ぞ知れたらいいですね。いきなり何が正しくて何と闘うのかを表明しても響かないので、言葉も意識して情報発信や対話をしたいです。

木村：そうですね。まず当事者に耳を傾けていくことが、既存の組織は根本の部分で変わらなないと思います。少し離れるかもしれませんが、メキシコの先住民の人たちは問題の当事者としてずっと抑圧され、声を聞かれなかったんですけど、90年代半ばに武装蜂起した集団があった。それが国際的に注目を集め、先住民運動の雰囲気がガラッと変わって議論が前に進むようになった。

宮間：私の会社が扱っているのは北米の巨大なプラットフォームです。それを日本に適用して大企業のために運営している。

木村：私も、率直な意見をあげたいです。一通り大切なことは話されたかと思っています。何度か話に出た「現場の声を聞く」という意味で、こうして皆さんと話をしたいです。 (終り)

山谷から見える現実

若者の困窮の深刻化

「佐々木さんは山谷の活動に携わりながら、日雇いの仕事もしてやってきたと伺いましたが、今どんな活動に関わっているのですか。」

佐々木：私が関わっているのは炊き出しや野宿者の方の仕事探しの手伝い、生活保護申請の同行などです。

木村：コロナ禍で野宿者が増えた実感はありますか。

佐々木：増えたと思いません。若い人も増えたなという感じがします。炊き出しの後、仕事に行きたいという若い人が片付けの時間まで残っていたり、活動に関わるようになってきたりがあります。

木村：若い方たちについては、今までもそういう路上での生活を経験したことがない方ですか。

佐々木：あまの深くは聞けないので、何気ない会話の中から察したうえで感じています。地方で寮に入って働いていた人が職にあぶれて山谷にきたとか、コロナと同様に路上生活に、という若い人が多い気がします。

宮間：はい、対面だけでは難しいなと思っていて、思いま

佐々木：その上部団体の対面への執着はハラスメントへの感性が問われている気がします。その人たちにハラスメント問題を扱えるのか。

宮間：扱えてないです。団交で社長が開き直して組合員を登壇呼びかけたりした時も、上部団体の委員長は怒らないで、そう思うならそのおねと否定するのはいいです。

宮間：もっと他人の話を聞いてほしい。何を望んでいるか理解してほしい。



フェミニサイドに抗議するメキシコの女性たち

佐々木：その上部団体の対面への執着はハラスメントへの感性が問われている気がします。その人たちにハラスメント問題を扱えるのか。

宮間：扱えてないです。団交で社長が開き直して組合員を登壇呼びかけたりした時も、上部団体の委員長は怒らないで、そう思うならそのおねと否定するのはいいです。

宮間：もっと他人の話を聞いてほしい。何を望んでいるか理解してほしい。

佐々木：宮間さんが言っているのを聞いて、上部団体の方も機嫌を伺いながら団交も交渉も全部自分たちでやっています。何のために組合員を納めて上部団体に所属してるとか、自分がどうい

佐々木：宮間さんが言っているのを聞いて、上部団体の方も機嫌を伺いながら団交も交渉も全部自分たちでやっています。何のために組合員を納めて上部団体に所属してるとか、自分がどうい

宮間：もっと他人の話を聞いてほしい。何を望んでいるか理解してほしい。

既存の運動組織は末端の人々の話を聞け

——それが変革と闘いの第一歩だ

「ITまでの皆さんの話から、資本や国家が生き残りをかけて挑んでいるIT産業や移民政策の末端での現実が見えてきました。そしてそれ以外

外の切り捨てられた産業の人々は路頭に迷い、自動的に助け合えるを得ないこと条件の下で、その末端にいる

宮間さんたちは当り前に生活し働くために動き出し、

た。その真っ当な変革の芽を生み出し、闘いを組織したのだと思えます。

木村：例えば宮間さんが働く中でIT独特の困難などはあ

自分としても、移民の問題を盾高に訴える人たちが相手に通じる言語でしゃべろうとしないことに違和感があります。根本的に共に活動しようという立場に立っていない気がします。

宮間：そうですね、言語の習得以前の課題だと思います。外国籍の方が多くて英語対応もできるからと聞いて入った組合なのに、上部団体の方の機嫌を伺いながら団交も交渉も全部自分たちでやっています。何のために組合員を納めて上部団体に所属してるとか、自分がどうい



「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に合わせて抗議するラテンアメリカの女性たち(上下)



「台湾の創造的なホームレス支援策—日本との比較を考える」

専門家お二人のウェブ講演：Zoomウェブで無料配信

社会的連帯経済を推進する会若森賢朗事務局長(主催)による2022年最初のセミナーは、「台湾の創造的なホームレス支援策—日本との比較を考える」と題したウェブセミナーで開催される。

視聴型のウェブセミナーであり、多数の参加が呼びかけられている。

◆セミナー概要◆
 新自由主義経済の跋扈に、新型コロナウイルス感染症が加わり、地球規模での格差社会が進行しています。

世界中でこのことから派生するホームレス問題への対応が迫られており、誰もがいつその様な立場に追い込まれるかわからない現実があります。

◆セミナー概要◆
 新自由主義経済の跋扈に、新型コロナウイルス感染症が加わり、地球規模での格差社会が進行しています。

世界中でこのことから派生するホームレス問題への対応が迫られており、誰もがいつその様な立場に追い込まれるかわからない現実があります。

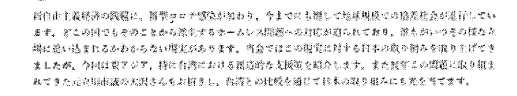
◆セミナー概要◆
 新自由主義経済の跋扈に、新型コロナウイルス感染症が加わり、地球規模での格差社会が進行しています。

世界中でこのことから派生するホームレス問題への対応が迫られており、誰もがいつその様な立場に追い込まれるかわからない現実があります。

社会的連帯経済 ウェブセミナー

コロナ禍を機にこれからの社会—地域を考える

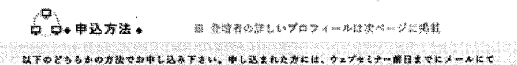
2021年度 連続ウェブセミナーのご案内



◆セミナーの概要◆
第5回「台湾の創造的なホームレス支援策—日本との比較を考える」

日時 1月15日(土) 時間 14時~16時30分(東京)

講師 中山 徹氏 (大阪府立大学名誉教授 専門：都市・社会政策) 大沢 ゆたか氏 (NPO法人さくらが丘理事長 専門：福祉)



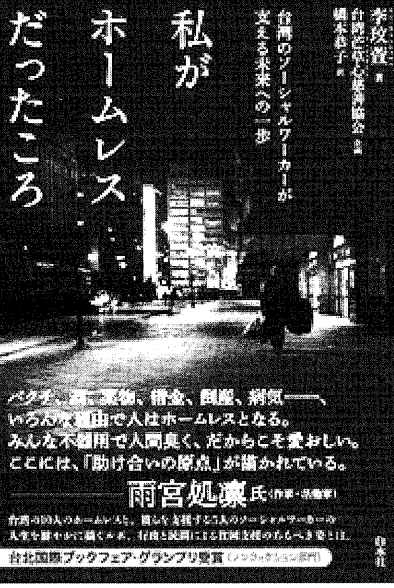
◆申込み方法◆
 以下のどちらかの方法でお申し込み下さい。申し込み後、ウェブセミナー当日までにメールにてZoomのリンクをお送り致します。*受講料は無料です。*

1. 当ホームページ (https://www.socijapan.org/) のトップに申し込みフォームのリンクを開設しますので、そこから申し込み下さい。
2. socijapan2020@gmail.com 宛に、名前、所属、セミナー参加の旨を記載のうえ、メールにてお申し込みください。

『私がホームレスだったころ』

台湾のソーシャルワーカーが支える未来への一歩

白水社刊 李政萱リー・ウェンシュエン著 橋本恭子訳



【書評紹介】コロナ禍で住まざるホームレスが増え、貧困問題が深刻化している。本書は、台湾でホームレスとなった著者の体験談を基に、ホームレスの生活実態や支援のありかについて多様な視点から考察している。本書は、ホームレスの生活実態や支援のありかについて多様な視点から考察している。

「私がホームレスだったころ」は、台湾でホームレスとなった著者の体験談を基に、ホームレスの生活実態や支援のありかについて多様な視点から考察している。

ホームレスという「固定観念」を打ち破る

台湾の10人のホームレスと、彼らを支援する5人のソーシャルワーカーの人生を鮮やかに描き出したルポ。著者の李政萱リー・ウェンシュエンは台湾で人気の女性作家で、多くの人気ドラマを手がける。『バックチ、酒、薬物、借金、倒産、病気、いろいろな理由で人はホームレスとなる。みんな不器用で人間臭く、だからこそ愛おしい。台湾書籍各部門で数々の受賞。ここには「助け合いの原点」が描かれている——雨宮処凛氏推薦！

生活者「仕事をしていない人」というイメージが強いが、もしも自分が、本書を読むと、その固定観念こそ、ホームレスの人たちを社会から排除することになり、支援の弊害になっていると知らされる。

作家、作詞家で、社会的弱者に関心を寄せる著者・李政萱リー・ウェンシュエンが台湾のホームレスと支援団体を取材して書き上げた。台北国際ブックフェア・گرانプリ賞を受賞した。話題作待望の邦訳。

第一部で、台湾のホームレス10名の人生の物語が鮮やかに描かれる。

第二部では、ソーシャルワーカーやボランティアなど、支援者5名の人生に光を当てる。

なせ彼らがホームレス支援に情熱を注ぐのか、その理由や支援者の背景、価値観も様々で、誰もが支援者になれることがわかって、支援へのハードルを下げることもつながる。

様々な支援団体が紹介され、活動内容も食事の提供から自立支援プログラム、新たなビジネスの創出に至るまで多様な試みが紹介されている。

女性ホームレス支援について詳しく触れられている。コロナ禍で深刻さを増す貧困問題について「自助・共助・公助を強調する日本政府の方針とは逆に、本書では「公助・共助・自助」の行政の支援システムを可視化している点も重要だ。

台湾の事例から日本の貧困とホームレス問題を捉え直し、各人の意識改革の一歩となることを期待したい。

巻末に、台湾の支援団体とともに活動に取り組んできた中山徹(大阪府立大学名誉教授・大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)の解説を付す。

読者の皆様へ—2022冬季カンパのお願い

世界を覆う疫病の前に立ち向かすままの為政者や打ち捨てられた弱者の光景であった2021年から開けて2022年。皆様どのような年明けであったでしょうか。

昨年の2021年、コロナは現代世界の病巣そのものを映し出しました。理念など遠くへ、ただ利権と我欲のためだけに強行された東京五輪。最大多数の幸せを求めるという当たり前の意思能力を失ったわが国支配層の醜態。それのみ晒した催しになりました。

改憲反動派が数を伸ばした衆院選。でもその前には、安倍後継内閣を葬った確かな数々の民意の集積もありました。

だからこそ絶望に嘆かず、労働と生活の現場で新しい

希望の種をばらまく民衆の怒りや闘いの力に確信を持ち、新しい時代に立ち向かわねばなりません。政治的主導権がそのまま旧層に差配されたままか、それとも新しい世界を期する人々の手に移るのか?

今年1月沖繩の名護市長選、7月参議院選、秋の沖繩県知事選と、東アジアと日本の未来、この国の社会の在り方を問う重要な選挙の年でもあります。この重要な新年への闘いの狼煙は、政府の「辺野古新基地設計変更申請」を不承認決定した玉城知事とこれに支持し支えるオール沖繩の闘いによって挙げています。

いよいよ気を引き締め、第13期の重要な節目を迎えた沖縄意見広告運動の支え、この問題意識として取り上げている武建一氏らの「関生再生委員会活動の発展

を日本労働運動再生の未来を拓くものとして闘うことが重要です。

これら闘いの発展のためにも、あらゆる策動妨害に打ち勝つ各自理論武装必須の時が来ました。「コモンズ」は、もはや制度疲労の極に達した資本主義変革へ向け、さらに来るべき真真正正な社会実現目指し闘う人たちに役立つ「真の理論&情報紙」としてこれら最前線に立つ人たちの思いや行動を届け伝える媒体となるべく努力を続けて参ります。

でも私達の力はまだまだ弱く、打つ続くコロナ禍に苦慮される皆様にお願ひするのは心苦しいはありますが、今年も冬のカンパご厚情を何卒よろしくお願い致します。併せて購読料お振込みのごともよろしくお願い致します。コロナでの新たな危険が迫る中、折柄皆様のご健康を祈念します。

—「コモンズ」編集機関紙局一同 お願ひします。

大阪労働学校・アソシエ教室

後期講座再開の案内

長期にわたる緊急事態宣言のため教室での講座の開催が困難な状態が続きましたが、本教室でも講座の再開が可能なものに関して再開することになりました。

さしあたり、ものの見方考え方講座の後期講座、および資本論読書会に關しましては、教室で実施することになります。

なお感染症の状況とはかわりなくオンライン講座を続行する講座もありま

ホームページの講座案内をご注意くださって、後期の講座を受講いただくようお願いいたします。

◆斉藤日出治メール / kajo@8888@ins.com.net.jp

「コモンズ」取扱店

- 群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大手町2の15 0270(25)2347
- 神奈川 ●中原ブックランド 川崎市中原区小杉町3の1 044(711)2346
- 東京 ●書泉ランド 千代田区神田神保町1の3 03(3295)0011
- 模索舎 新宿区新宿2の4の9 03(3352)3557
- 豊川堂カルミア店 豊橋市花田町西無善地 豊橋ステーションビルカルミア 053(2)2810
- ウニタ書店 名古屋市中区山崎3の33 052(731)1380
- 丸主書店 美濃加茂市太田町2535の1 0574(25)2281
- 謙州堂書店 高松市松島町2の1の9 087(834)1533
- 金修堂 福岡市中央区草香江2の2の7 092(731)2612
- ブックスじのん 宜野湾市真原2の3の3 098(897)7241

乱鬼龍

地位協定 日本の地位は ほととかれ オミクワ 基地ある限り ばらまかれ 改憲派 頭の中は 旧憲法 A-1に開けば 政治が無能過ぎ この国を私を変えよ 年新た

●新年早々、米軍基地から感染拡大した沖縄の悲痛な叫びを無視し、改憲への意欲を燃やす現政権。米中の狭間で同じく苦境に立つ台湾や朝鮮半島の人人々々をどうにか、改憲で孤立の道を進み、東アジアの共存の可能性を潰すのか、今年も岐路に立っている。労働者大衆の力と変革への希望を信じ対話と行動を諦めない年(したい)。(東京S)

●新年は明けだが、早くもオミクワ「株」まん延、米軍基地問題など、今日の日本と世界の諸矛盾の深化、劣化などが噴出してきている。こうした中で、真の歴史的主権主体の理論とは、実践とは、がより深く鋭く問われている。前身4面習体制の盤石を内外に示すという記事に対して、毎号、諸氏諸方面に配布しているが、「コモンズ」は中国派になったのか、「中国共産党の広報のようだ」という読者からの厳しい指摘があった。個人名の原稿とはいえず、コモンズ紙面をより正確に鋭いものにしていくためにも、理論面での学習や討議に務めていかねばと思っ。乱

●情けなくも、報道がその役割を放棄して、なんと読売大阪が、大阪府市両方の広報窓口を担うとは。戦後CIA肝いりで同紙を支配した止松太郎以後は、権力擁護と革新勢力の分断、原発推進等多くの反動路線を縦横の「ペン」の力を示して来た姿は、驚異新聞そのものだ。だからこそ在野で権力への正当な怒りを持続することこそ使命と噛みしめる。関西M

編集室から

女性ホームレス支援について詳しく触れられている。コロナ禍で深刻さを増す貧困問題について「自助・共助・公助を強調する日本政府の方針とは逆に、本書では「公助・共助・自助」の行政の支援システムを可視化している点も重要だ。

台湾の事例から日本の貧困とホームレス問題を捉え直し、各人の意識改革の一歩となることを期待したい。

巻末に、台湾の支援団体とともに活動に取り組んできた中山徹(大阪府立大学名誉教授・大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)の解説を付す。